

加温自動水栓

EAAM-300EV1、EAAM-300EV2
EAAM-300CEV1、EAAM-300CEV2
EAAM-320EV1、EAAM-320EV2
EAAM-320CEV1、EAAM-320CEV2



施工時には必ずお守りください

以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。
この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。
マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

●用語および記号の説明

⚠ 警告	作業を誤った場合に、設置作業者が、又は設置工事の不具合によって人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠ 注意	施工を誤った場合に、人が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
⚠	「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。 必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
🚫	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
❗	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
⚡	「必ずアース接続をしなさい！」

⚠ 警告

- アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者（電気工事士）」によるD種接地工事（100Ω以下）を行ってください。
また漏電遮断器を設置してください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。
- 使用する電源、消費電力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。
※火災の原因となります。
- 屋外には設置しないでください。
●屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
※故障や感電の原因となります。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理は行わないでください。
※火災や感電の原因となります。
- 内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
※感電や火災の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。
- 水道水（水道事業体が供給する上水）以外の水を使用しないでください。
※早期に機器が破損し、感電・漏水の原因となります。

⚠ 注意

- 必ず機器内に通水してから、運転スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
- 同梱の吐水口部以外とは接続しないでください。
※機器の故障、ヤケド、漏電、漏水の恐れがあります。
- この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はしないでください。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。
- 製品を接続する前に必ず配管中の異物・サビなどを洗い流してください。
※製品内部を傷めて機器の漏水や破損の原因となります。
- 凍結する可能性のある場所では使用しないでください。
※機器の漏水や破損の原因となります。
- 本体は必ず壁に固定してください。壁と平行に取り付いていることを確認してください。
※傾くと正常に動作しない原因となります。
- 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後、必ず配管内の空気を抜いてください。
※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 機器に強い力や衝撃を与えないでください。
※故障や漏水の原因となります。

1. 仕様

本体品番	EAAM-300EV1、EAAM-300CEV1 EAAM-320EV1、EAAM-320CEV1	EAAM-300EV2、EAAM-300CEV2 EAAM-320EV2、EAAM-320CEV2
外形寸法		
質量		
給水方式		
使用水圧範囲		
使用可能雰囲気温度		
定格電圧	AC100V(50/60Hz)	単相200V(50/60Hz)
消費電力	本体：1300W 水栓：0.2W(待機)～1.3W	本体：2500W 水栓：0.2W(待機)～1.3W
電源コード	有効長さ 0.7m	接地極付きタイプ
吐水量	約0.9L/分	約1.7L/分
吐水温度	約26°C (温度範囲 約21°C～31°C)	※1
発熱体構造	セラミックヒーター	
給湯方式	瞬間式	
安全装置	高温感知スイッチ、温度ヒューズ、漏水検知装置、漏電検知装置	
感知方法	距離測定式赤外線センサー	
感知距離	自動調節（感知距離自動調節機能内蔵）	
感知エリア幅	φ10mm以下	
給水接続	R1/2	
取付条件	水栓取付穴径 φ25～38mm カウンター厚5～30mm	

* 1 : 温度切替が可能ですが、制約事項があります。

詳しくは取扱説明書をご参照ください。（工場出荷時は26°Cに設定されています。）

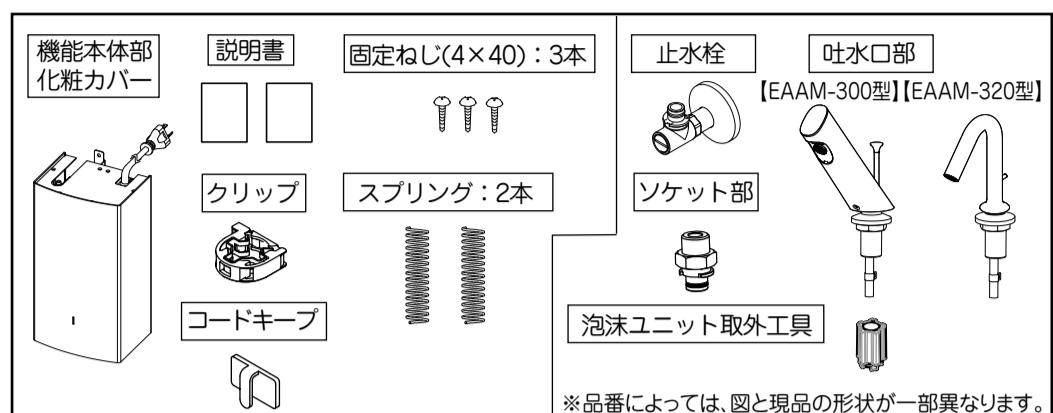
商品の機能が十分発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

この説明書は、施工完了後、お客様にお渡しください。

また定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

2. 同梱品一覧

施工前に同梱部品を確認してください。



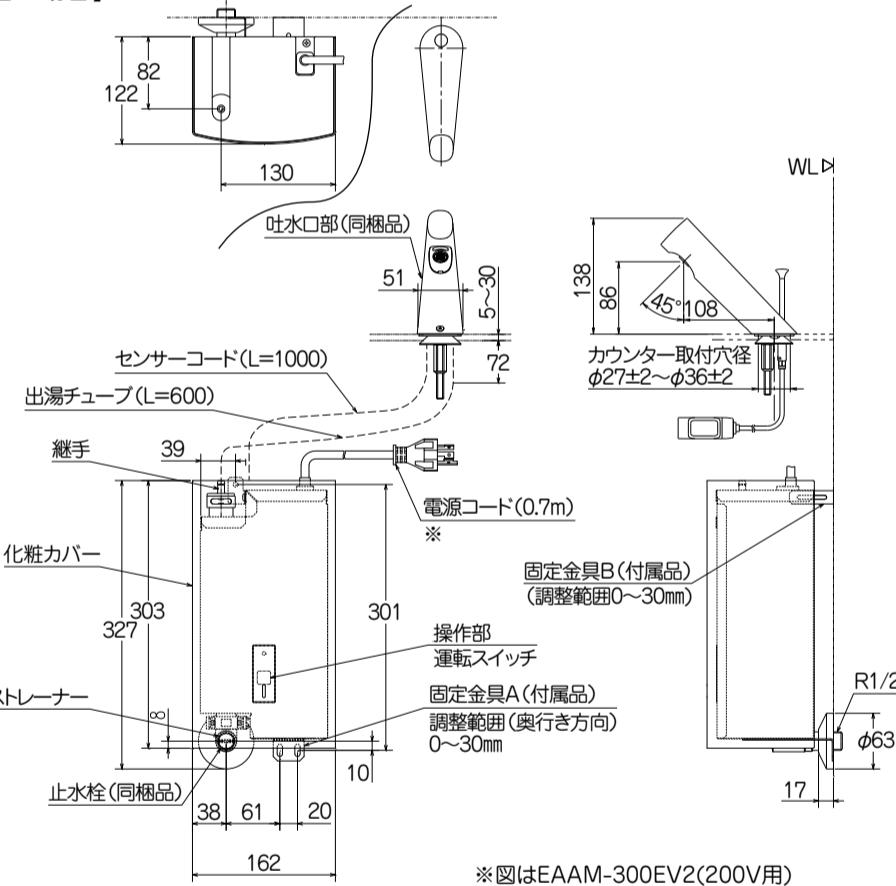
3. 別売品一覧

品名	品番	備考	外観概略
床給水用配管セット	EFH-YHS2	床給水の場合 必要	

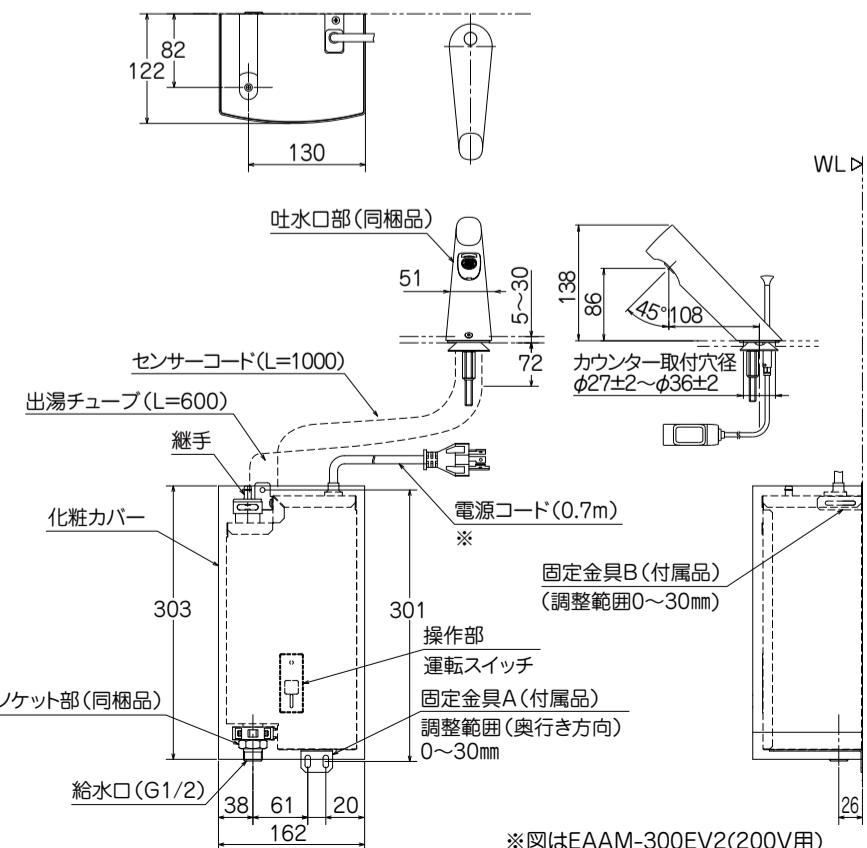
※床給水セットをご使用の場合は、ステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径13mm)、1/2Bパッキンを別途現場で調達してください。

4. 寸法図

【止水栓の場合】



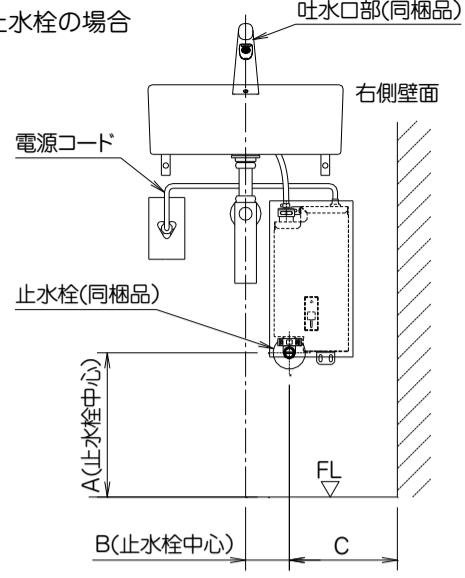
【ソケットの場合】



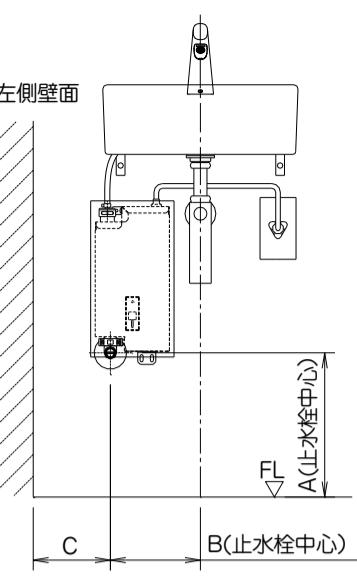
※図はEAAM-300EV2(200V用)

5. 設置条件

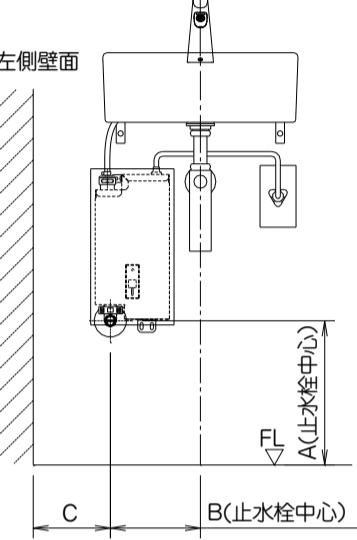
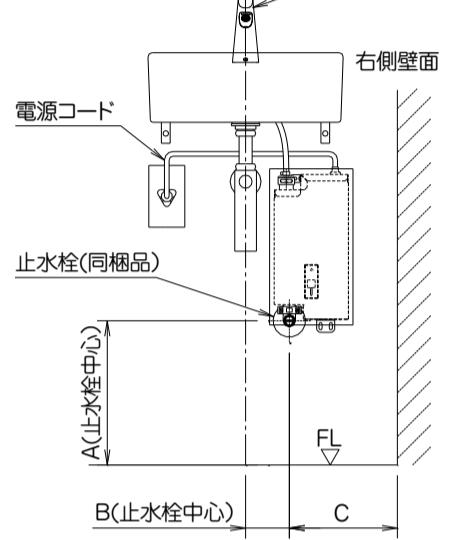
【排水芯の右側設置】



【排水芯の左側設置】



ソケットの場合

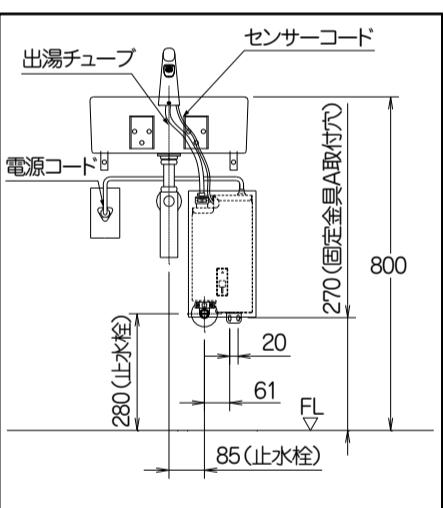


寸法	A	B	C
排水芯の右側設置	150以上	85以上	150以上
排水芯の左側設置	150以上	175以上	150以上

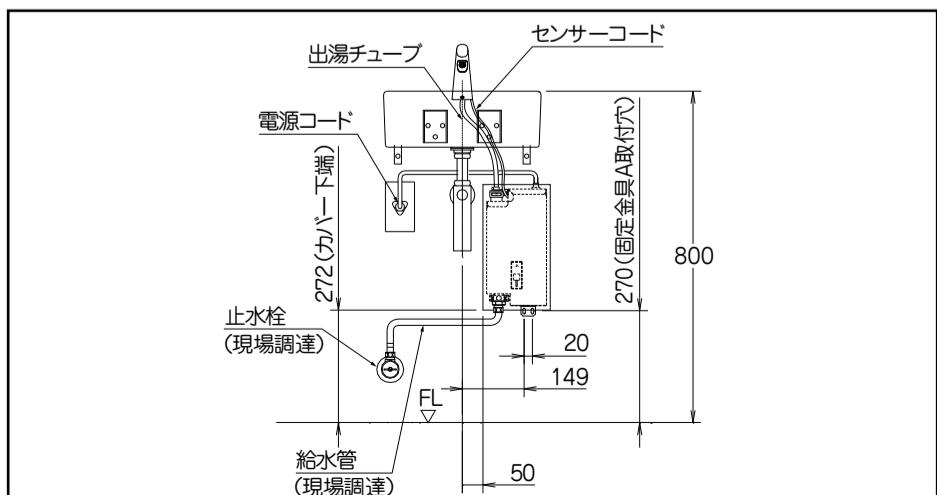
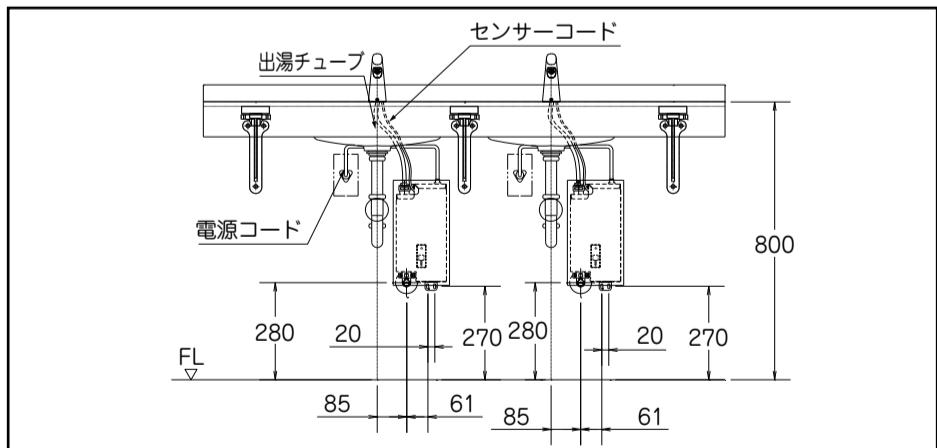
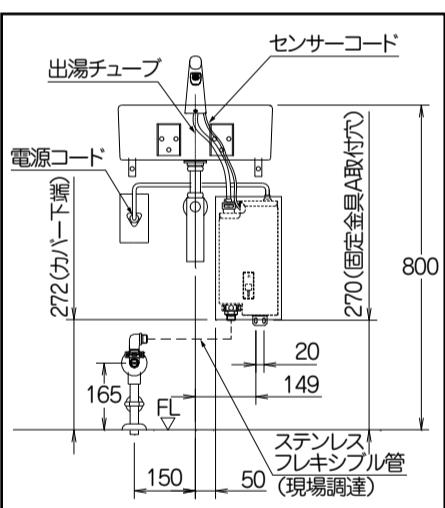
(mm)

6. 標準施工図例

【壁給水の場合】



【床給水の場合】



7. 施工前の注意

取付けに必要な工具

- 取付けにはプラスドライバー、モンキーレンチ、専用工具「KG-4」（対辺34）、プライヤー、マイナスドライバーが必要です。

取付可能陶器

- 水栓を取付ける陶器が取付可能陶器であることを確認してください。

(取付可能陶器一覧表参照)

※取付可能陶器一覧表に記載されていない陶器への取付けは、誤作動することがありますので取付けできません。

【取付可能陶器一覧表】

加温自動水栓製品番	陶 器 取 付 穴	
	分類	品 番
EAAM-300CEV1	手洗器	L-14 AN, N
		L-15 AG, G
		L-62 ANC, FC
		L-103 AG
		L-132 AG, G
		L-143 AG, G
		L-176U AG, G, AN, N, AP, P
		L-275 AN, N
		L-275-H AN, N
		L-365 APR, APRS, FCPR, FCPRS
		L-531 ANC, N
		L-536 ANC, N
		L-543 ANC
		L-546 ANC, N
EAAM-300CEV2	洗面器	L-555 ANC, N
		L-2094 AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2149 AG, G, ANC, AN, N, AP, P, APR, APRS, FCPR, FCPRS
		L-2150 AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2160 AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2250 -
		L-2260 -
		L-2291 -
		L-2292 -
		L-2295 -
		L-2394 AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2584 ANC
		L-2594 AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2848 ANC, FC, FCS
EAAM-300EV1	洗面器	L-176U FCR, FCRS
		L-275 FCR, FCRS
		L-365 FC, FCS
		L-536 FCR, FCRS
		L-543 FC
		L-546 FC, FCRS
		L-555 FC, FCRS
		L-2094 FC, FCS, CL
		L-2149 FC, FCS, CL
		L-2150 FC, FCS, CL
		L-2160 FC, FCS, CL
		L-2394 FC, CL
		L-2584 FC, CR, CRS
		L-2594 FC, FCRS, CL
	L-2848 ANC, FC, FCS	

●落下防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。

【乾式壁の場合】

- ・壁面への取付けは同梱の固定ねじを使用してください。
- ・ねじ込み深さが20mm以上になるように取付木（補強木）を設けてください。
- ・石こうボード等のボード張りにはタッピングねじはききません。
あらかじめ壁裏に取付木を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
(ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。)

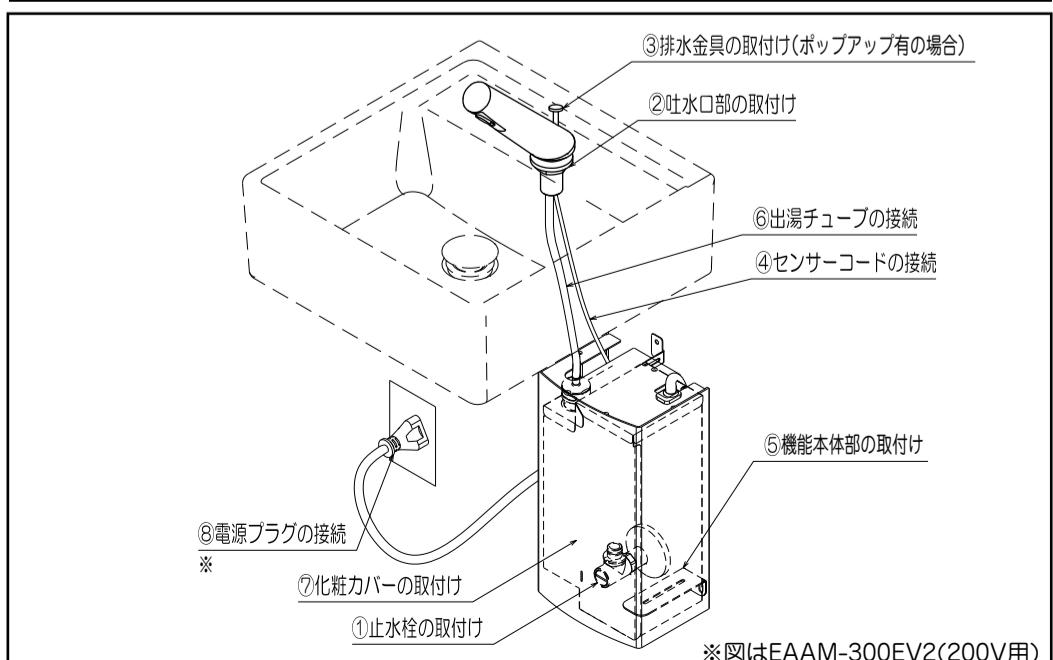
【湿式壁の場合】

- ・取付部材として固定ねじ（呼び径4×40mm）にあうプラグを準備してください。
- ・壁仕上材（モルタル、モルタル+タイル等）の厚さは20mm以下としてください。
- ・ALC板やコンクリートブロックの中空部にはAYボルトは固定できません。
- ・木すり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

●その他の注意点

- ・開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。
- ・機能本体部は必ず正しい向きに取り付けてください。
※横にしたり、逆に取付けると誤作動の原因となります。
- ・電気製品ですので機能本体部に水をかけないように注意してください。
- ・センサーの表面を傷つけないように十分注意してください。
- ・インバーター照明により誤作動する場合があります。
- ・直射日光が当たらないところに設置してください。
- ・電源コードの長さは0.7mです。コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。

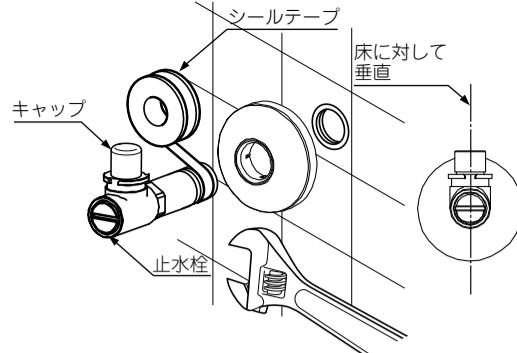
8. 取付け手順



8-1. 止水栓の取付け

配管位置を確認し、止水栓を取り付ける。
※ねじ部にシールテープ等のシール材を必ず巻きつけてください。

△ 注意 キャップは機能本体部を接続するまで取り外さないでください。
※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因となります。



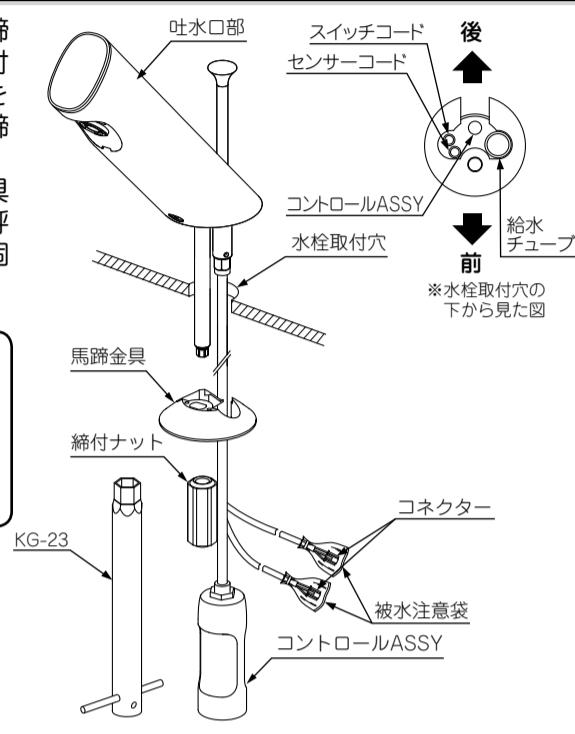
※床給水の場合は「8-5.」の【床給水の場合】を参照

8-2. 吐水口部の取付け

吐水口部を水栓取付穴に挿入し、馬蹄金具、締付ナットを取り付け、給水チューブ、コード類の位置を水栓取付穴の下から確認し、手締めで仮固定する。

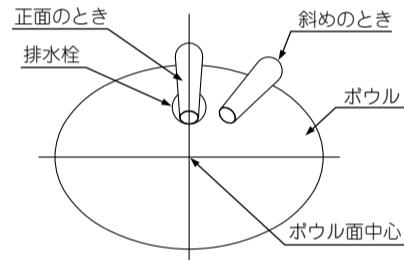
吐水口の向きを調整し、専用工具「KG-23」もしくはソケットレンチ（呼び13）を用いて吐水口部をしっかりと固定する。

△ 注意 コネクターの被水注意袋は、機能部に接続するまで取り外さないでください。
※コネクターが傷つき、故障の原因となります。



吐水口先端をボウルの中心に向くよう調節し、吐水口部をしっかりと固定する。

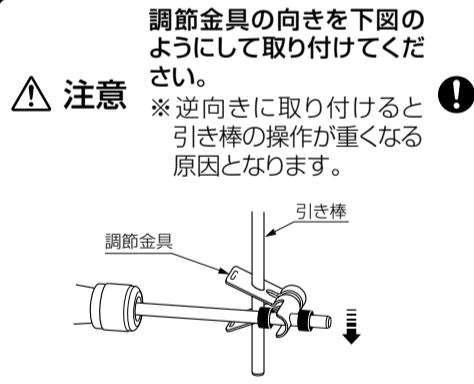
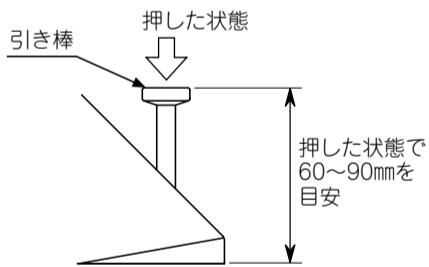
△ 注意 ●取付方向を適切な向きにしてください。
●取付可能陶器以外に取り付けないでください。
※ボウル面を感知して誤作動する恐れがあります。



8-3. 排水金具の取付け（ポップアップありの場合）

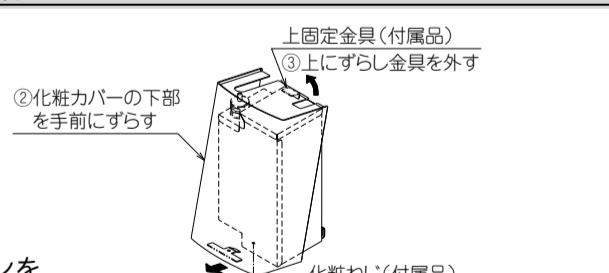
コントロールASSYを排水金具に接続します。
※接続方法は、排水金具に同梱の施工説明書をご覧ください。

排水金具と引き棒を接続する。
この時、引き棒は下図のように取り付ける。



8-4. センサーコードの接続

①化粧カバーを取り外す。

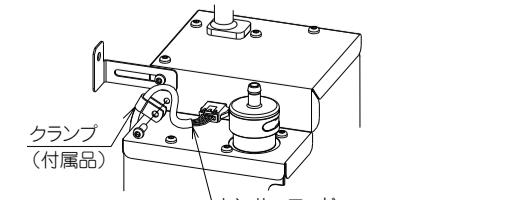


②センサーコードのコネクターピンを外側に向けて機能本体部の側面にあるコネクターに差し込む。

△ 注意 濡れた手で触れたり、水がかからないように行ってください。
※故障の原因となります。



③機能本体部側面のクランプを取り外し、センサーコードを通す。

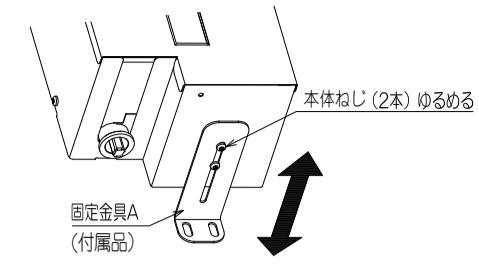


④クランプを元の位置に固定する

8-5. 機能本体部の接続

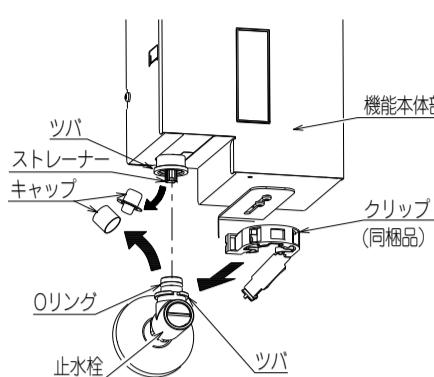
【壁給水の場合】

①機能本体部の下部にある本体ねじをゆるめる。



②止水栓と機能本体部のキャップを外し、機能本体部が正面を向くように止水栓のツバと機能本体部のツバが接するまで差し込む。

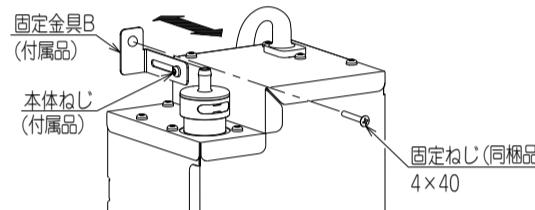
△ 注意 ●Oリングを傷つけたり、ゴミが付着しないよう行ってください。
※漏水の原因となります。
●誤ってストレーナーを外さないでください。
※ゴミが電磁弁内に入り、故障の原因となります。



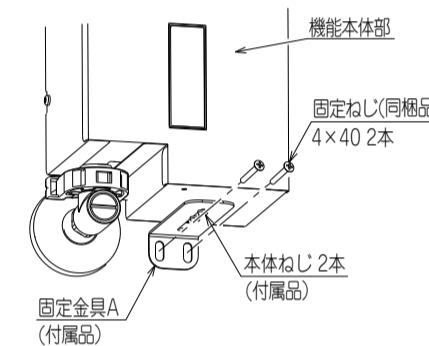
③付属のクリップを接続部(ツバ部)にめ込む。

△ 注意 確実にはめ込んでください。
※しっかりとめ込んでないと漏水やクリップでケガをする恐れがあります。

④固定金具Bの本体ねじをゆるめて同梱の固定ねじで壁に固定する。ゆるめた本体ねじを固定する。



⑤固定金具Aの位置を調整し、同梱の固定ねじで壁に固定する。ゆるめた本体ねじを固定する。



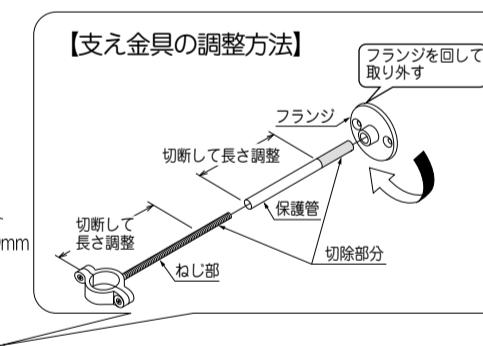
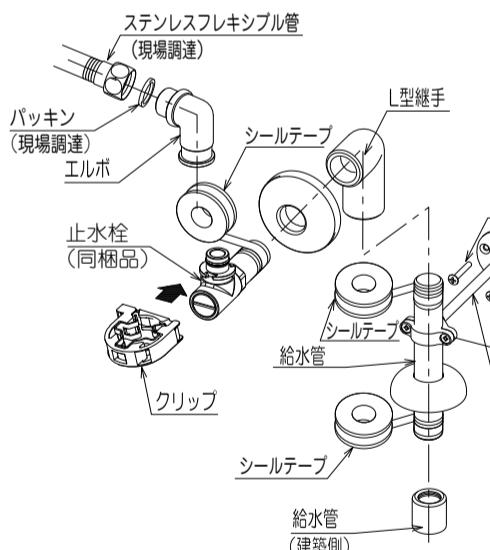
【床給水の場合】

床給水接続の場合は、別売の床給水用配管セット（品番：EFH-YHS2）をご使用ください。

①給水管、止水栓、支え金具を取り付ける。

※止水栓を給水管に取り付けるときは、ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてください。

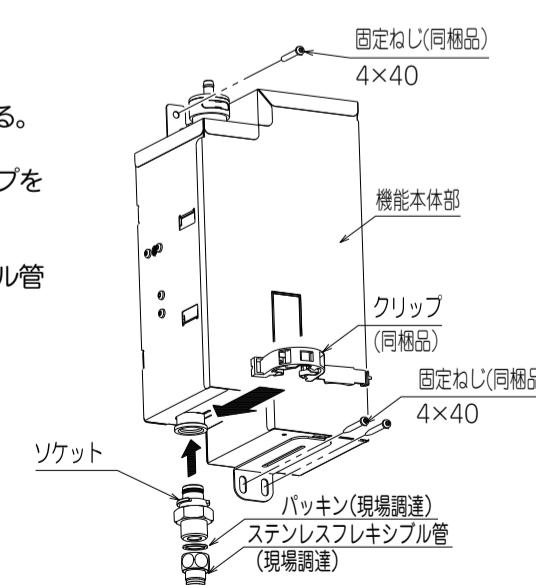
②エルボ（床給水セット付属）を止水栓に差し込み、クリップを接続部(ツバ部)にはめ込む。



③機能本体部を同梱品の固定ねじで壁に固定する。

④機能本体部にソケットを差し込み、クリップを接続部(ツバ部)にはめ込む。

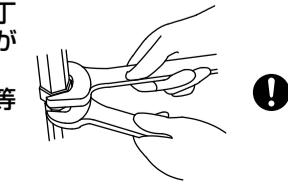
⑤止水栓とソケットをステンレスフレキシブル管（現場調達）にて接続する。



△ 注意 ●ステンレスフレキシブル管の接続は必ずスパナを2丁使用するなどして、取り付ける相手の部品に無理な力がかかるないよう注意して接続してください。

●機器を接続する前に、十分に水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。

※機器にゴミが侵入すると、故障の恐れがあります。

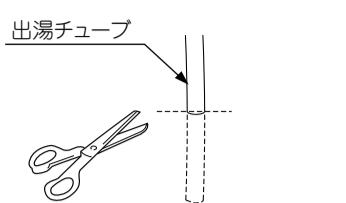


8-6. 出湯チューブの接続

①出湯チューブが折れ曲らないように必要な長さを確認し、切断する。

ポイント

出湯チューブは水平に切断する。



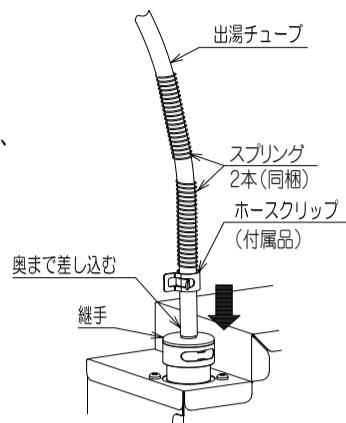
- △ 注意**
- 出湯チューブの取付けは必ず順序を守ってください。
※漏水の原因となります。
 - 必ず出湯チューブの必要な長さを確認してください。
※出湯チューブが長すぎると折れ曲がり流量が下がる恐れがあります。

②出湯チューブにホース折れ防止用の同梱のスプリング（2本）、ホースクリップを通す。

③出湯チューブを継手の奥まで差し込む。

④プライヤー等を使用し、ホースクリップで固定する。

- △ 注意**
- 出湯チューブを継手から取り外す場合、カッターは使用しないでください。
※継手を傷つけ、漏水の原因となります。



9. 電気工事

- 漏電遮断器を必ず設置してください。
●必ずアースを接続してください。
●アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者（電気工事士）」によるD種接地工事（100Ω以下）を行ってください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

- △ 注意**
- 内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
●内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。
●使用する電源・ヒーター能力（定格消費電力）を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。
●コンセントの電圧を必ず確認してください。100V用コンセントに200Vが供給されている場合は、電気工事をやり直してください。
※感電や火災の原因となります。

①本機器専用に「接地極付コンセント」を用意する。

機器の取付位置より0.7m以内の所にコンセントを設けてください。

②コンセントにD種接地工事を行う。

品番	定格電圧	ヒーター能力	コンセント形状	推奨コンセント（パナソニック電工製）
EAAM-300EV1	AC100V	1300W		WN1101 WF3002B/WK WF3003B/WK
EAAM-320EV1				
EAAM-300EV2	単相200V	2500W		WF2520B/W WK2520B/W
EAAM-320EV2				
EAAM-300CEV1				
EAAM-300CEV2				
EAAM-320CEV1				
EAAM-320CEV2				

10. 施工後の確認・処置

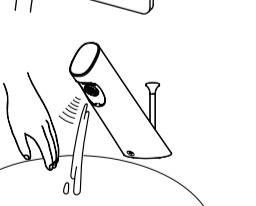
10-1. 通水確認

①止水栓を開く。

- △ 注意**
- 出湯チューブに折れがないことを確認してから、通水を行う。
※漏水の恐れがあります。

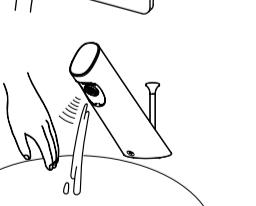


②電源プラグをコンセントに確実に差し込む。

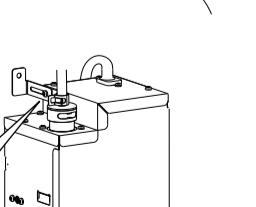


③運転LEDが消灯していることを確認する。

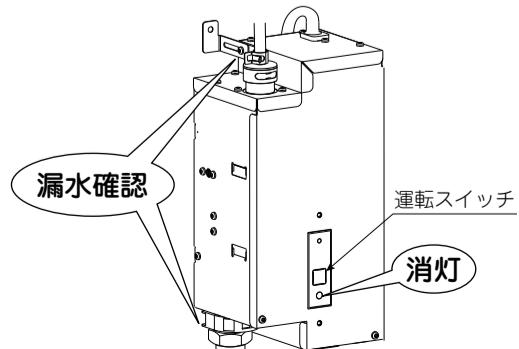
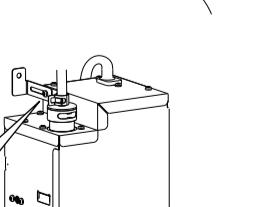
点灯している場合は、運転スイッチを「切」にする。



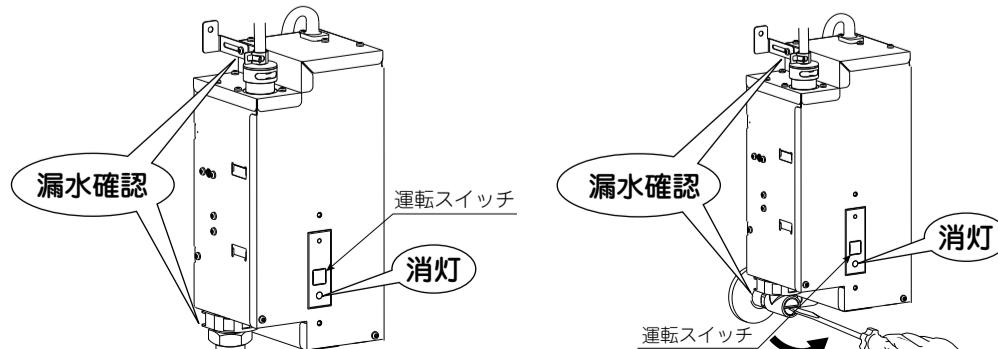
④手を差し出し、センサーを感知させ、水ができるのを確認する。



⑤水を止め、接続部から漏水がないことを確認する。



【ソケットの場合】



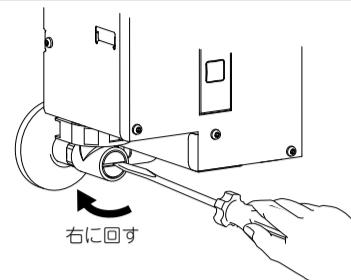
【止水栓の場合】

10-2. ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。

①止水栓を閉じる。

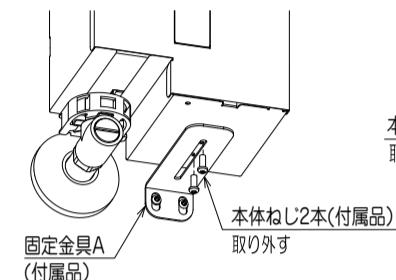
- △ 注意**
- マイナス溝にあつたマイナスドライバーを使用してください。
※止水栓のマイナス溝は樹脂製のため傷をつける恐れがあります。



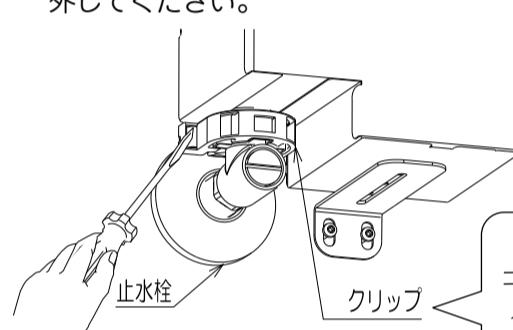
②手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きしてから電源プラグを抜く。



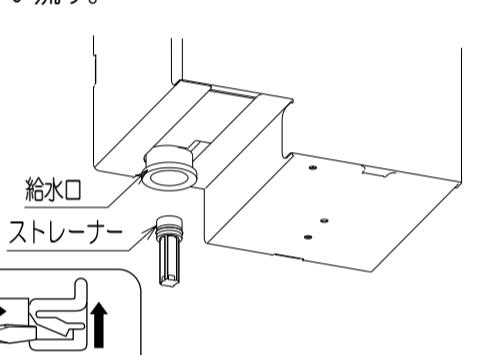
③固定金具A、固定金具Bの本体ねじを取り外す。



④クリップを取り外し、機能本体部を止水栓から取り外す。クリップを外す際には、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように上方向に押すように外してください。



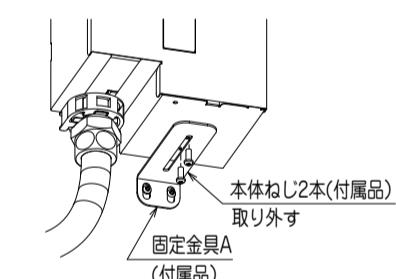
⑤給水口の中に収まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流す。



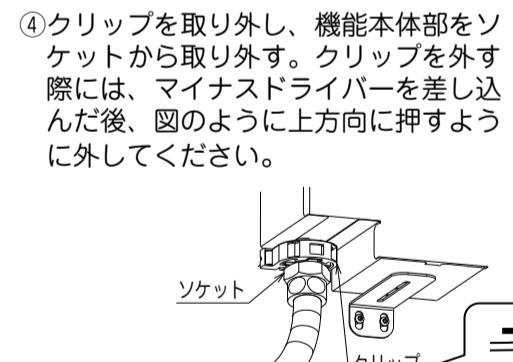
⑥逆の手順でもとに戻します。

【ソケットの場合】

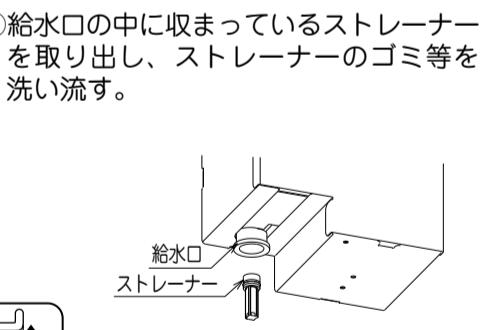
③固定金具A、固定金具Bの本体ねじを取り外す。



④クリップを取り外し、機能本体部をソケットから取り外す。クリップを外す際には、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように上方向に押すように外してください。



⑤給水口の中に収まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流す。



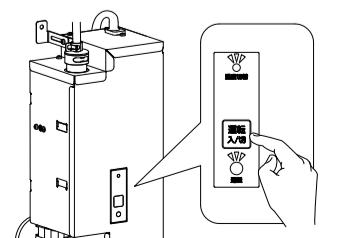
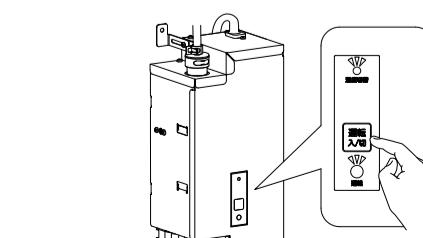
⑥逆の手順でもとに戻します。

10-3. 機器への通電

- △ 注意**
- 必ず機器内を満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

①通水する。
※「10-1通水確認」をご参照ください。

②運転スイッチを「入」にする。



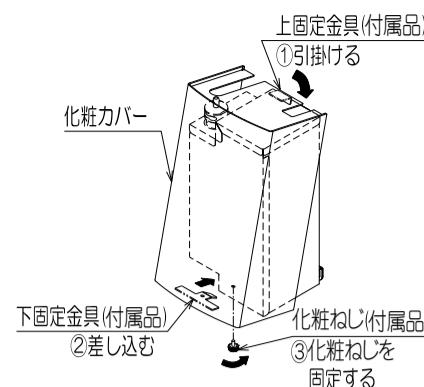
【ソケットの場合】

【止水栓の場合】

10-4. 化粧カバーの取付け

化粧カバーをはめ込み、化粧ねじで固定する。

△ 注意 コードを化粧カバーで挟み込まないでください。
※コードが断線する恐れがあります。



10-5. 感知距離の再設定方法

感知距離自動調節

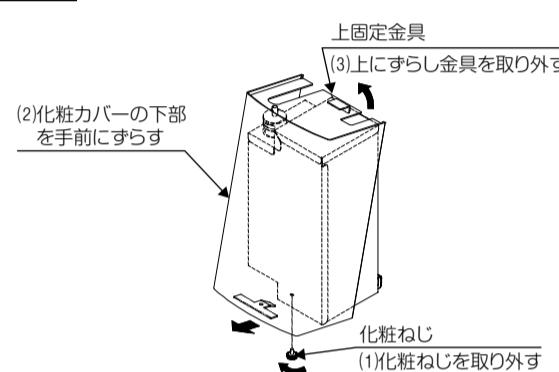
センサーが水栓陶器間の距離を感知し、感知距離を自動で調節します。陶器と水栓の間に物が置かれていると、調節が正常に行われません。感知距離が短いと感じた場合、再調節をしてください。

確認

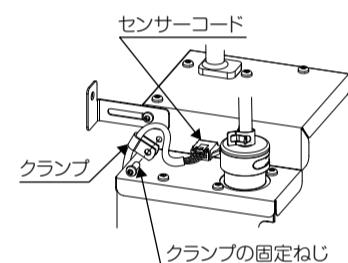
センサーと陶器の間に物を置かないでください。

【感知距離の再設定】

①化粧カバーを取り外す。



②機能本体部側面のクランプの固定ねじを取り外します。(1ヶ所)



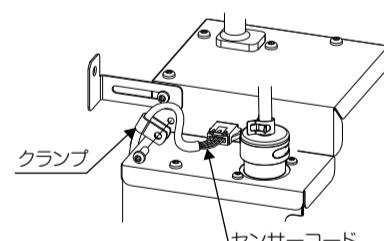
③センサーコードのコネクターピンを指で押さえながらコネクターから取り外し、再度取り付ける。

10秒経過すると調節が完了する。

この間にセンサーを感知させると正しく調節できません。

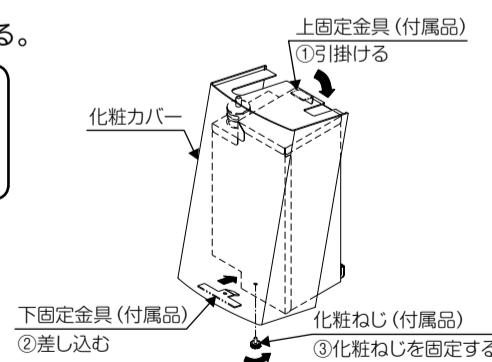
△ 注意 濡れた手で触れたり、水がかからないように行ってください。
※故障の原因となります。

④クランプを元の位置に固定する。



⑤化粧カバーをはめ込み、化粧ねじで固定する。

△ 注意 コードを化粧カバーで挟み込まないでください。
※コードが断線する恐れがあります。



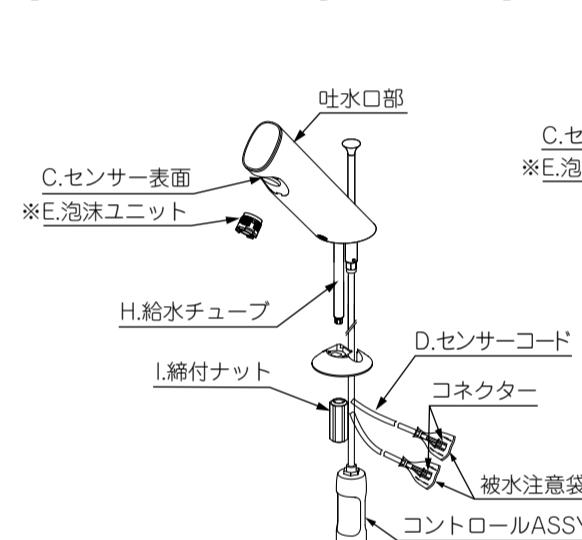
11. 施工後の最終確認

お客様に引き渡す前に、以下のようないか確認してください。
確認後、取扱説明書、施工説明書をお客さまにお渡しください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
吐水しない	止水栓は開いているか	A	止水栓を開く
	コンセントに電気がきていない、または停電中ではないか?	-	ブレーカーを確認する。停電中の場合回復するまで待つ。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていてか?	B	電源プラグをコンセントに差し込む。
	ストレーナーや泡沢ユニットにゴミ詰まりは無いか?	E,F	ゴミ等を水で洗い流す。
	センサーの表面が汚れていないか?	C	汚れをふき取る。※1
	センサーワードがコネクターから外れていないか?	D	センサーワードをコネクターに接続する。
	断水中ではないか?	-	復旧するまで待つ。
流量が少ない	給水圧力は十分か?	-	「1.仕様」の項を参照する。
	止水栓を全開にしているか?	A	止水栓を全開にする。
	ストレーナーや泡沢ユニットにゴミ詰まりはないか?	E,F	ゴミ等を水で洗い流す。
	配管途中に大きな抵抗はないか?	-	抵抗となる障害物を取り除く。
止水しない (勝手に水が出る)	出湯チューブが折れ曲っていないか?	H	折れ曲らないよう長さを調整して、スプリングを取付ける。
	センサーの感知エリア内に障害物がないか?	-	障害物を取り除く。
	センサーの表面に水がついたり、汚れていないか?	C	汚れをふき取る。※1
取付可能陶器以外を組み合わせていないか。	取付可能陶器以外を組み合わせていないか?	-	「取付可能陶器一覧表」の項を参照する
	水栓本体がガタつく	I	締付ナットをしっかりと締める。
	吐水状態が乱れる	E	ゴミ等を水で洗い流す。
吐水口接続部から水漏れする	泡沢ユニットにゴミ詰まりはないか?	E	泡沢ユニットをしっかりと締める。
	泡沢ユニットがしっかりと締まっているか?	E	泡沢ユニットをしっかりと締める。

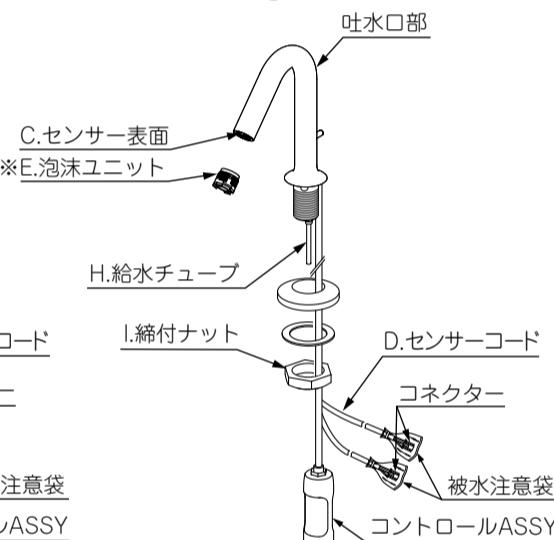
※1 : センサー表面の汚れをふき取る場合、キズをつけないようにしてください

【EAAM-300型の場合】

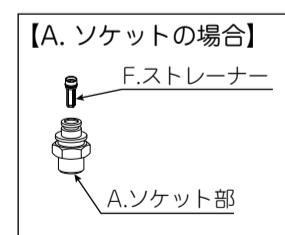
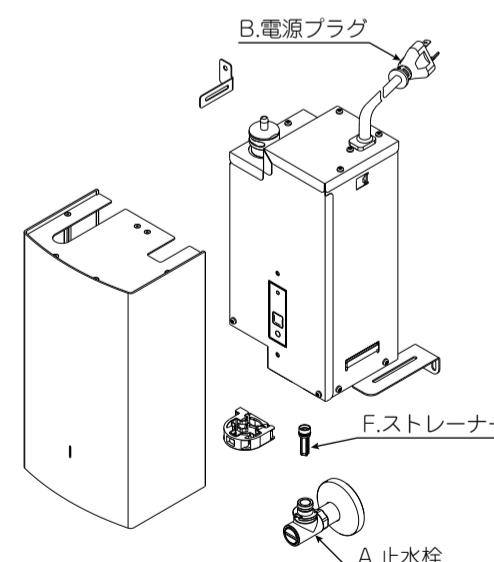


※図はEAAM-3*0(C)EV2

【EAAM-320型の場合】



EAAM-3*0(C)EV1の場合



株式会社 LIXIL
お問合せ先

お客様相談センター商品相談窓口

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間平日 9:00 ~ 18:00

土日・祝日 9:00 ~ 17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

固定金具用ねじ 下穴位置出し用型紙

